

### 2019年度第1回ユニオンセミナー

日時 2月23日(土) 10時~17時  
 内容 賃金・権利について  
 会場 水戸市：自治労会館

# 自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30 自治労茨城県本部  
 Eメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp  
 編集発行人 = 黒江正臣  
 毎月 5 の日発行  
 定価 = 1部5円(組合費に含む)  
 印刷所 = コトブキ印刷株式会社

## 2019年地方自治の拡充めざし頑張ります！

— 自治労茨城県本部自治体議員連合 —

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 会長  | 吉成 好信 (大子町議会議員)  |
| 副会長 | 岡野 孝男 (石岡市議会議員)  |
| 幹事長 | 飯田 正美 (水戸市議会議員)  |
| 会 員 | 齋藤 英彰 (茨城県議会議員)  |
| 〃   | 二川 英俊 (茨城県議会議員)  |
| 〃   | 設楽詠美子 (茨城県議会議員)  |
| 〃   | 遠藤 実 (茨城県議会議員)   |
| 〃   | 石松 俊雄 (笠間市議会議員)  |
| 〃   | 今井 路江 (北茨城市議会議員) |
| 〃   | 斯波 元気 (下妻市議会議員)  |
| 〃   | 大足 光司 (高萩市議会議員)  |
| 〃   | 河原井 大介 (城里町議会議員) |
| 〃   | 石島 勝男 (筑西市議会議員)  |
| 〃   | 山崎 幸子 (美浦村議会議員)  |
| 〃   | 木村 清隆 (つくば市議会議員) |
| 〃   | 菅谷 毅 (鹿嶋市議会議員)   |
| 〃   | 河野 俊雄 (行方市議会議員)  |

## 参院選の必勝めざそう

### 連合茨城が新春のつどい



浅野哲衆議院議員の音頭で乾杯した連合茨城新春のつどい

連合茨城の新春のつどいが1月8日、水戸京成ホテルで開かれ、各産別組織の代表や推薦議員など関係者約500人が参加しました。

はじめに内山会長は、推薦候補全員の当選を果たせなかつた昨年末の県議会議員選挙に触れ、「反省し、課題を分析し組織の足元を見つめ直したい」と述べるとともに、「連合茨城の政策を実現していくためにも、各種選挙において私たちの推薦候補者と政策協定を締

結し、連合茨城一丸となつて強力に取組みを展開していきたい」と強調し、春季生活闘争の取り組みと春の統一自治体選挙、夏の参院選に向け、組織の総力で必勝をめざそうと呼びかけました。

来賓には、国会議員や大井川県知事、推薦首長、自治体議員も駆けつけました。

このあと、参加者は立食パーティーで懇談、途中、お楽しみ抽選会などで大いに盛り上がりまし



県本部春闘討論集会であいさつする千歳委員長

### 新春のつどいに駆けつけた来賓の皆様

藤森久次自治労本部政治局長、高木英見連合茨城事務局長、大井川和彦茨城県知事、郡司彰参議院議員、藤田幸久参議院議員、浅野哲衆議院議員、小松崎一成衆議院議員青山大人秘書、石松俊雄社会民主党茨城県連合代表、齋藤英彰茨城県議会議員、二川英俊茨城県議会議員、設楽詠美子茨城県議会議員、遠藤実茨城県議会議員、UAゼンセン・電機連合・県教職員組合・JP労組・電力総連・JEC連合・情報労連・私鉄労連・政労連・国鉄労働組合、この他推薦市町村議会議員、友誼団体、福祉団体など。



吉成大子町議の音頭で乾杯した県本部新春のつどい

「県本部2019年新春のつどい」が春闘討論集会のあと、ホテルテラスザガーデン水戸で開かれ、各単組役員、専従役員OB、退職者会、推薦議員など約170人が参加しました。

つどいでは、千歳委員長が2019年のほしまりに際して、県本部の決

意と参加者への日頃の感謝を述べました。

来賓は、藤森自治労本部政治局長、高木連合茨城事務局長、藤田参議院議員、石松社会民主党連代表、大井川県知事、推薦議員などが駆けつけ、県本部への祝辞を述べました。

続いて、吉成好信大子

町議会議員の音頭で乾杯。懇談中は、昨年末に当選を果した推薦県議会議員や市町村議員などのあいさつ、「お楽しみ抽選会」などで大いに盛り上がり、2019年統一自治体選・参院選にふさわしいスタートとなりました。

なお、「お楽しみ抽選会」の特賞賞品・ミラリス一眼カメラは北茨城市職の花園さんが見事、獲得しました。

県本部は1月16日、水戸市内で春闘討論集を開き、2019年の闘いをスタートさせました。はじめに千歳委員長は2018賃金確定闘争の

取り組み状況に触れたあと、2019春闘について「要求・交渉しながら組織強化を図っていく」と呼びかけ、「憲法改正、沖繩辺野古新基地建設な

ど強権的政治を変えていくためにも春闘と合わせ統一自治体選挙の組織強化を図っていく」と訴え

ました。

次に、「2019自治労春闘方針と政治決戦に向けて」をテーマに藤森久次自治労本部政治局長が講演しました。

藤森政治局長は、「この間の要求書提出・交渉の単組数や全国統一行動の実施・参加者数は極めて低調」と自治労組織の状況を厳しく指摘。改善

した。

質疑討論では、会計年度任用職員制度の条例化や定年延長問題、労働時

間の上限規制と36協定期間、政治活動などについて質疑が交わされました。

最後に、岡野孝男(石岡市議会議員)、飯田正美(水戸市議会議員)、菅谷毅(鹿嶋市議会議員)の自治労組織内3候補の決意表明を受けたあと、千歳委員長の音頭で団結ガンバローを三唱、春闘討論集会を締めくくりました。

# 春闘・選挙闘争一体で闘おう

## 春闘討論集会から2019スタート

また、春闘期に合わせ統一自治体選挙の組織内・推薦候補の勝利と参院選挙「岸まきこ」の勝利に向けた取り組み強化を呼びかけました。

このあと、自治体賃金確定闘争の推進、県本部春闘方針について君和田書記長から提起がありました。

質疑討論では、会計年度任用職員制度の条例化や定年延長問題、労働時





県本部新春のつどいであいさつ (2019年1月16日)



藤田幸久の国会レポート②⑦

# 平成と真逆の安倍 "災"政治

正月の皇居の一般参賀の数は例年を大幅に上回りました。広島、沖縄やペリリュー島などを慰霊し、被災地を慰問される陛下に対する国民の信頼の深さです。また「国の内外、天地ともに平和を達成する」という「平成」を行動で示しておられると拝察致します。

昨年、世相を表した漢字は「災」ですが、安倍首相の言動自体が「平成」と真逆の「災」です。2015年の戦後70周年談話がその好例です。村山談話では「我が

国は(略)植民地支配と侵略とによってとりわけアジア諸国の人々に多大の苦痛を」とあるのに対し、安倍談話は「事変、侵略、戦争。(略)手段としては(略)植民地支配から永遠に決別し」と、侵略と植民地支配が日本の行為か否かを不明確にしました。また村山談話での「私は(略)痛切な反省の意を表し、心からのお詫び」に対し、安倍談話は「我が国は(略)痛切な反省と心からのお詫びを表明して」

と主語を回避しました。戦後追悼式において、陛下は戦没者追悼式では初めて「さきの大戦に対する深い反省」というお言葉述べられました。また「平和の存続を切望する国民の意識に支えられ」と、平和を望む国民の気持ちを表現されました。

ル・モンド紙は安倍談話を「真の後悔より表面的な平和論に重きを置いた」と評し、ニューヨーク・タイムズ紙は陛下のお言葉を「安倍首相の政策に対する静かな反対と見方が強まる」と評しました。平成と真逆の安倍「災」政治を打倒するために参議院選挙でのご支援をお願いいたします。

## 各単組役員



- |              |             |            |
|--------------|-------------|------------|
| 常陸大宮市職員組合    | 執行委員長 相田 英樹 | 執行委員 大賀 祐恵 |
| 執行委員長 安藤 博章  | 執行委員 久松 郁夫  |            |
| 副執行委員長 砂川美穂子 | 執行委員 菅原 大雅  |            |
| 書記長 足田 徹治    | 書記長 佐藤 寛士   |            |
| 書記次長 小室 雅之   | 書記次長 林 真未   |            |
| 執行委員 笹沼 貴之   | 執行委員 伊藤 大輔  |            |
| 執行委員 櫻岡 敬史   | 執行委員 岩瀬 祐一  |            |
| 執行委員 大森 訓明   | 執行委員 古橋 裕司  |            |
| 執行委員 木村 直樹   | 執行委員 中泉 裕大  |            |
| 執行委員 小室 孝一   | 執行委員 稲田 智大  |            |
| 執行委員 大賀 邦宏   | 執行委員 三宅 正俊  |            |
| 執行委員 木村 祐一   | 執行委員 長塚美代子  |            |
| 執行委員 小口 陽司   | 執行委員 松藤みどり  |            |
| 執行委員 阿久津卓也   | 執行委員 高橋真由美  |            |
| 執行委員 木村恵美子   | 執行委員 村田千賀子  |            |
| 執行委員 小池 一輝   | 執行委員 村田千賀子  |            |
| 執行委員 鴨志田裕司   | 執行委員 金山 恵子  |            |

- |             |             |  |
|-------------|-------------|--|
| 土浦市職員組合     | 執行委員長 久松 郁夫 |  |
| 執行委員長 菅原 大雅 | 書記長 佐藤 寛士   |  |
| 書記次長 林 真未   | 書記次長 伊藤 大輔  |  |
| 執行委員 岩瀬 祐一  | 執行委員 古橋 裕司  |  |
| 執行委員 中泉 裕大  | 執行委員 稲田 智大  |  |
| 執行委員 三宅 正俊  | 執行委員 長塚美代子  |  |
| 執行委員 松藤みどり  | 執行委員 高橋真由美  |  |
| 執行委員 村田千賀子  | 執行委員 村田千賀子  |  |
| 執行委員 村田千賀子  | 執行委員 金山 恵子  |  |

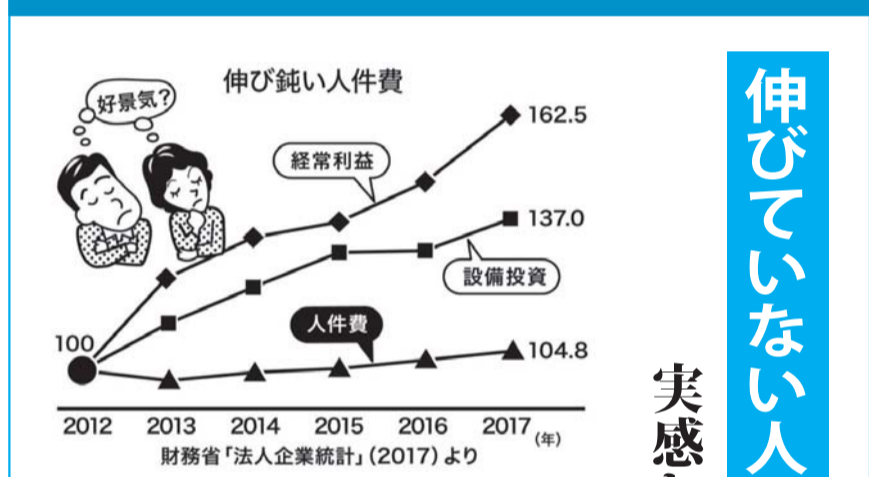
# 2010年代も最後！ 今年の出来事をチェック

〈働き方改革関連法施行〉  
働き方改革関連法が4月から施行されます。残業代がゼロとなる高度プロフェッショナル制度を職場に入れさせない取り組みなどが重要です。新たな残業時間規制の導入や、年休を取得させることの企業への義務化も始まります。

〈消費税2ケタ時代に〉  
10月から消費税率が10%に。導入から30年で、2ケタ税率に突入です。消費税導入の目的は高齢

〈幼児教育無償化〉  
10月から幼児教育(幼稚園や保育園、認定こども園)の無償化がスタートします。  
対象は3〜5歳児の全員と住民税非課税世帯の0〜2歳児。無認可保育

## ◆2019春闘グラフ



### 伸びていない人件費

実感なき好景気  
日本経済は戦後最長の好景気に迫る勢いだといわれます。でも、どれほどの人が実感しているのでしょうか。企業収益は急拡大し、設備投資も堅調ですが、人件費の伸びはわずか。これでは国内経済の6割を占める個人消費は増えず、人々の生活が豊かになるような経済成長は望めません。

グラフは2012年を100とした場合の、企業収益、設備投資、人件費の増減を示しています。企業収益が62%増と伸びる一方、人件費はゼロ台を推移。16年ようやくプラスに転じましたが、4%余りと伸びはわずかです。

ZENROSAI NEWS  
5115V238

明けて  
おめでとうございます

総合共済

団体生命共済

長期共済

税制適格年金

親子共済

全労済の住みいる共済

マイカー共済

自賠責共済

充実の保障をご提供します

ご不明な点があれば、まず組合にご連絡ください。

※契約にあたってはパンフレットをご覧ください